

2026 年 10 月 22 日

各 位

スターアジアグループ

**スターアジアグループとエムエル・エステートが共同出資する
セパレートリー・マネージド・アカウント設立のお知らせ**

スターアジアグループは、エムエル・エステート株式会社（以下「エムエル・エステート」といいます。）とスターアジアグループが共同出資を行うセパレートリー・マネージド・アカウント（以下、「本ファンド」といいます。）を 2026 年 8 月 21 日に設立しました。スターアジアグループとみずほリース株式会社及びエムエル・エステートは 2026 年 3 月 25 日に資本業務提携契約（以下「本資本業務提携契約」といい、本資本業務提携契約に基づく資本業務提携を「本資本業務提携」といいます。）を締結しており、本ファンドの設立は、本資本業務提携における戦略的シナジーを実現させる試みの一つとなります。

本ファンドは、国内のオフィス、物流施設、ホテルまたは住宅で、将来の賃料上昇余地があると考えられる物件を取得し賃料上昇によるアップサイド享受を企図するもので、その第一弾として東京都区部を中心とした築年数の比較的浅い賃貸レジデンス 9 物件の信託受益権を取得しました。ファンドのエクイティコミットメント総額は約 105 億円で、豊富な運用実績を有するスターアジア・アセット・アドバイザーズ株式会社がアセットマネジャーを務めます。

スターアジアグループは、2007 年に創業した不動産投資運用グループであり、不動産、金融、投資およびファンド運用の専門家 75 名以上で構成されています。創業以来、多数の私募ファンドおよび上場リートであるスターアジア不動産投資法人（東証コード：3468）等を通じ、主として日本の不動産関連資産および事業会社等への投資・運用を行ってきました。創業以来、累積 1.43 兆円以上の投資を行っており、現在、運用資産は 9,306 億円（いずれも 2026 年 6 月末時点）となっています。

こうした卓越した投資実績を背景に、米国の大手大学基金、財団、その他の政府系ファンド、年金基金および超富裕層投資家等から資金を受託し、運用してまいりました。今後も、従来からの海外機関投資家との長期的なパートナーシップを維持・発展させるとともに、これまで培ってきた不動産投資・運用に関する知見やネットワークを活用し、国内機関投資家のニーズに応じた不動産運用商品の提供を進め、国内機関投資家との長期的なパートナーシップの構築および私募ファンド事業の拡大に取り組んでまいります。

以上

【スターアジアグループ概要】

社名：スターアジアグループ

設立：2007 年 3 月

運用資産：9,306 億円（2026 年 6 月末時点）

マネージングパートナー兼共同創業者：増山 太郎、マルコム・F・マククリーン 4 世

日本における拠点：スターアジア・マネジメント・ジャパン・リミテッド 東京支店

住所：東京都港区愛宕二丁目 5 番 1 号愛宕グリーンヒルズ MORI タワー18 階

事業内容：不動産関連投資、運用、運営

会社 HP：<http://starasiamanagement.com/>

【プレスリリースに関するお問い合わせ先】

E-mail：press.jp@starasiamanagement.com

【免責事項】

- ・ 本資料は当社または当社と関連する会社の株式の購入や売却等、投資勧誘を目的としたものではございません。投資に関する決定はご自身のご判断において行っていただくようお願いいたします。
- ・ 本資料に掲載されている情報・資料の掲載には相当の注意を払っておりますが、掲載された情報の内容の正確性については一切保証いたしません。また、掲載された情報・資料を利用、使用、ダウンロードするなどの行為に関して生じたあらゆる損害等についても、理由の如何に関わらず、当社は一切の責任を負うものではありません。